

八丈島 水産だより

3月号

2014



フリージア



八形山フリージアまつり会場

この冬は全国的に寒く、八丈島でも最高気温が10℃に届かない日もあり、あられが降ることもありました。3月に入ると、日差しが強くなり、可憐なスミレの花も咲きはじめ、次第に春らしくなっています。

今年も3月21日から「第48回フリージアまつり」が始まりました。八形山の祭り会場では、フリージアの摘み取りや特産品の販売、八丈太鼓の体験も楽しむことができます。4月6日まで開催されます。ぜひお越しください。

■今年の春の漁模様



トビウオの水揚げ



カツオ

先月6日から始まったトビウオ漁ですが、八丈島周りの海水温が低く、また、荒れた日が多かったため、漁師さんたちは思うような漁ができませんでした。

しかし3月も中旬を過ぎ、黒潮が八丈島の近くを流れるようになり、海水温が上がってきたため、トビウオの姿が見えるようになり、だんだんと獲れるようになってきました。現在3隻が操業しています。

八丈の春の魚と言えば、もうひとつカツオがありますが、黒潮が近づいたのにもかかわらず、ほとんど姿を見ることができません。近年不漁が続いていますが、今年も厳しいのでしょうか。心配されます。

■八丈島産業祭が開催されました



品評会



品評会



女性部のコーナー



女性部の取組をパネルで紹介

3月22～23日、新しくなった八丈町役場とおじゃれホールを会場に「八丈島産業祭」が開催されました。

産業祭では島内の農家が栽培した花や観葉植物、工芸品などの品評会と表彰式が行われました。また、農産物の即売会や漁協女性部手作りのすり身揚げやトビ汁などの試食や総菜の販売などがあり、多くの人で賑わいました。